

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「山田」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	22,991,437円		24,725,806円	コロナ禍で例年通りの活動ができなかったため、活動費にかかる収支が少なかった。	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子供たちの自律自立を支援する。
施設HPアドレス	https://www.omi-suginoko.ed.jp		2年目	18,658,327円		20,558,002円	資格のある職員採用が難しく、紹介会社を通じて1名採用したことから手数料が生じた。コロナ禍で外部に出かける活動費はなかった。	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子供たちの自律自立を支援する。
指定管理者名	社会福祉法人淡海すぎのこ会		3年目	21,141,601円		25,745,723円	前年同様、コロナ禍で外部に出かける収支はなし。前年に比べ、保護者が児童を預けることを控えることがなく、定員一杯の預かりとなった。	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子供たちの自律自立を支援する。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	19,844,569円		26,296,562円	人手不足により、紹介手数料を支払っての人員確保及び最低賃金が上がったことで派遣の人件費も含めて大幅に人件費が必要となった。	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子供たちの自律自立を支援する。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目	17,951,781円		20,864,965円	指定管理者制度のため、管理料の増額が見込めない中、2年続けて最低賃金が上がった中、安心して預かることのできる職員配置をすると人件費がかなり増額した。	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子供たちの自律自立を支援する。

●総合評価の基準				○その他の項目	
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である		公募・非公募の別	公募
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である		使用料・利用料金制の別	使用料
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である		指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である		施設の供用開始日	平成11年度
1		評価基準に☆が1以上ある		指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの児童が支援員の見守りのもと、集団生活の中で互いに協力したり、助け合ったりしながら健やかに成長できる環境を整える。 保護者および小学校との連携を大切にしながら、児童の自律自立を伴った成長を支援する。 支援員の法人の方針に基づいた専門性を育む。 		<p>概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。</p>	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の安全を優先することを意識しすぎて、活動に制限をかけることが多かった。子ども達の自律自立を考え、自分達で安全について考える機会を多く持てるとよかったのではないかと。 年度の後半、主任支援員がいない状態ではあったが、以前、勤めていた職員が戻ってくれたので、長年勤めている職員とともに協力して安全に過ごすことができた。 保護者、小学校とは連携を大切に、共に子ども達の成長を支援することができた。 		<p>(公募による応募状況等)</p> <p>公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。</p> <p>(使用料導入についての効果の検証)</p> <p>公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。</p>	

◇施設に係る主な指定管理業務

草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準

☆☆☆☆

仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である

☆☆☆☆

仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である

☆☆☆

仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である

☆☆

仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である

☆

仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

評価項目1

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等) (仕様書 P1.2)

指定管理者の自己評価

上半期評価

年度始めは定員100名からのスタートとなった。これまでどおり、アレルギー対応、防犯の他、施設の衛生に配慮し、職員間の連携を意識しながら、運営することができた。夏休みには、子ども達にとってお兄さんの立場となれる学生アルバイトも長時間入り、楽しく安全に過ごすことができた。

☆☆☆☆

下半期評価

主任支援員が退職したが、以前勤務していた職員が戻り、長年勤めている職員同士で連携をとりながら、協力して安全に過ごすことができた。年度の後半には、お稽古事や家庭の状況等で高学年児童が数名退所している。

☆☆☆☆

市(施設所管課)の評価

上半期評価

仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。独自にアレルギーや防犯について対策・対応等の研修を実施し、支援員の質の向上を図られた。

☆☆☆☆

下半期評価

仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。市が実施する研修にも積極的に参加され、支援員等の資質向上に努められた。

☆☆☆☆

評価項目2

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等) (仕様書 P1.2)

指定管理者の自己評価

上半期評価

低学年が多く、慣れない間は年長の子ども達とともに新入の子ども達がのびっ子山田に慣れるような関わりを心掛けた。個人情報については、法人の個人情報の規程に基づいて安全な取扱いを心掛けた。

☆☆☆☆

下半期評価

職員間で子ども達が楽しめるようなイベントを開催し、子ども達同士で楽しめるように心掛けた。また、子ども達の自主性を大切にして、自分たちで企画できるようなイベントにも取り組めた。

☆☆☆☆

市(施設所管課)の評価

上半期評価

集団生活の中で、のびっ子内でのルールの定着を図り、規則正しい生活リズムを身に着けるよう指導されていた。個人情報については、取り扱いには細心の注意を払い、管理をされていた。

☆☆☆☆

下半期評価

時期に合ったイベントを実施された。また、児童が主体的となってイベントを企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。

☆☆☆☆

評価項目3

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等) (仕様書 P2.3)

指定管理者の自己評価

上半期評価

ICT化により、保護者へのおしらせ、おたより配布は速やかにできている。おたよりは、月1回配布して、持ち物や月の行事なども伝えてきた。

☆☆☆☆

下半期評価

のびっこでの生活にも慣れ、子ども達の活動が活発になり、危険予測がおろそかになってきた様子が見られたので、子ども達の自律自立を考えて、自分たちで考えるように促すと子ども達同士で工夫を考えて安全に遊びをする様子があった。

☆☆☆☆

市(施設所管課)の評価

上半期評価

毎月のおたよりで持ち物や行事予定等の連絡事項を伝えられた。また、従来のおたよりに加え、システムを通じて児童の様子を中心とした事務連絡を周知し、保護者とのコミュニケーションを図られた。

☆☆☆☆

下半期評価

児童の安全を確保しながら、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、児童に寄り添った対応を心掛けておられた。

☆☆☆☆

評価項目4

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等) (仕様書 P3.4)

指定管理者の自己評価

上半期評価

毎日1回日常点検を実施している。消防設備・施設点検は、定められた日程により確実に実施している。また、AED点検も定期的に行い、周辺の除草は適宜実施している。

☆☆☆☆

下半期評価

毎日1回日常点検を実施している。消防設備・施設点検は、定められた日程により確実に実施している。また、AED点検も定期的に行い、周辺の除草は適宜実施している。

☆☆☆☆

市(施設所管課)の評価

上半期評価

安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回様々な災害を想定し、避難訓練を実施された。草刈り等、屋外も含め、日々の点検や清掃活動も実施された。

☆☆☆☆

下半期評価

安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回様々な災害を想定し、避難訓練を実施された。草刈り等、屋外も含め、日々の点検や清掃活動も実施された。

☆☆☆☆